



週報

Rotary



国際ロータリー会長

ステファニー A. アーチック

会長 伊東真知子 第2720地区ガバナー

幹事 石橋 春明 三村 彰吾

大分第4Gガバナー補佐

佐藤 憲幸

地区スローガン

寛容な心で、ロータリーの未来、そして若者の未来を考えよう。



大分城西ロータリークラブ

クラブスローガン「クラブを愛しましょう！ ー共に 親睦と奉仕をー」

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

出席報告	7月 31日					例会日	水曜日 12:30~13:30	編集担当	8月 河野浩二 9月 園田哲史 10月 岩尾隆志
	会員総数	出席者数	出席率	ゲスト	ビジター				
	30 名	21 名	70.00 %	0 名	0 名				

事務局 〒870-0021 大分市府内町トハ会館4階 TEL 097-532-0611 FAX 097-532-8386 Eメール oitajosairc@mist.ocn.ne.jp

例会場 ホテル日航大分アスタール
ホームページ <http://oitajosairotaryclub.com>

2024-2025

第5回例会

8月7日

◆本日のプログラム（8月7日）

19:00	点鐘
	国歌斉唱 「君が代」
	ロータリーソング「奉仕の理想」
	ゲスト・ビジターの紹介 伊東真知子 会長
	会長の時間 伊東真知子 会長
	出席報告及び幹事報告 石橋春明 幹事
	ロータリー情報 R情報担当委員
	委員会報告 各 委 員 会
	スマイルボックス 会 員 各 自
19:15	新入会員歓迎親睦会
	会場：グリル・バル・カタラーナ

◆ゲスト・ビジターの紹介（7月31日）

●ゲスト	ナシ
●ビジター	ナシ

◆今週のお祝い（8月7日）

●創立記念	
	佐藤俊治会員 (株)熊野建設 S48年8月7日 (51年)
	岩尾隆志会員 岩尾会計事務所 S56年8月19日 (43年)

◆幹事報告（7月31日）

・本日の回覧物は、国際ロータリー第2720地区ローターアクト新人研修会&アクトの日活動のご案内と、大分キャピタルRC週報です。

・来週8/7（水）は19時より府内町のグリル・バル・カタラーナ（首藤会員のお店）で新入会員歓迎親睦夜例会です。

時間と場所のお間違いがないようご注意ください。

尚、理事の皆様は18：30より理事会を開催しますのでご出席をお願いします。



No.1566

会員増強・新クラブ結成推進月間

◆今後の例会予定

●8月14日	定款第7条第1節に基づき例会取りやめ
●8月21日	川間信太郎様（自衛隊大分地方協力本部 本部長）の卓話
●8月28日	城西マーケット
●9月4日	全員協議会（当番クラブについて）
●9月11日	会員卓話
●9月18日	定款第7条第1節に基づき例会取りやめ
●9月25日	定款第7条第1節に基づき例会取りやめ
●職業奉仕3分スピーチ	
本日はありません。	
(8/21) 中村会員 (8/28) 神野会員	

◆スマイルボックス（7月31日）

ナシ

◆会長の時間（7月31日）

会長 伊東 眞知子

本日はここ荷揚町に4月に開設されました、大分市公共複合施設の中の「おおいた消防指令センター」を職場訪問として見学させていただきます。見学の時間がありますので、駆け足で会長の時間を始めます。

荷揚複合施設が建ちましたこの地は、私にとりまして思い出深い土地です。この地には、岩尾会員や私が通った大分市立荷揚町小学校の校舎がありました。荷揚町小学校は、府内藩の藩校「遊焉(ゆうえん)館」が明治維新で廃校となりそれに代わる学校として大分県で最初に創立された「大分小校」がルーツとなっている学校でした。1887(明治20年)にこの地に校舎が建てられ 1955(昭和30年)に鉄筋コンクリートの新校舎が竣工されました。1957年には昭和天皇がご来校なされ、展覧授業も行われました。



上は65歳の小学校同窓会の際、皆で母校見学とお別れに来た時のものです。校舎は3階建てでシンプル。内部は、吹き抜けのある木の階段が特徴的で踊り場や、廊下の幅も広く、子供たちの出会いの場になるようにという設計者の思いの込められた、今も目に焼き付く美しい学校でした。私は20年前から取り壊し反対運動に加わっておりましてので、今日のこの場所に立ちますことは忸怩たる思いもあります。当時のことを思い出しているのですが、正門の左手に確か教育会館があり、そこで演奏会などを行っていました。そうして正門向かい側には、大分消防署があり、社会見学に行った記憶があります。私にとりましては複雑な思いのある場所でございますが、このように立派な施設が立ち、消防指令センターが開設されましたことは、大分市民にとりましては大変喜ばしいことだと思います。本日はしっかり見学して、自分をしっかり納得させようと思います。



上の写真は、大分市教育委員会のサイトから添付しました。小学校の中央玄関で、父兄から寄贈された、1927年製造のドイツ製のピアノと階段の様子で、やはりとても美しいです。本日は、この機会に荷揚町小学校のことを皆さんに伝えることができまして、とても嬉しいです。

◆卓話の時間（7月31日）

荷揚リンクスクエアでの職場例会(おおいた消防指令センター)



おおいた消防指令センターについて（おおいた消防指令センター通信指令課 川上和宏参事）

1 通信指令業務の概要

通信指令業務は、119番通報の受付のほか、災害の内容から最適な消防車や救急車を選別し、指令を届けるとともに、災害の内容を出動する隊に伝達することが主な業務となります。

119番通報は、これまで、市町村を管轄する県内14の消防本部がそれぞれで、受付けてきましたが、県内すべての119番通報が一元化され、おおいた消防指令センターで受け付けようになります。

現在、大分市から順次119番回線の切り替えを行っており、8月6日の津久見市、国東市（姫島村含む）を最後に県内すべての119番回線がおおいた消防指令センターに切り替わります。

それ以降は、指令システムの各装置やデータ伝送などの整合を図りながら、9月末まで仮運用を行い、令和6年10月1日より本運用を開始いたします。

通信指令業務を市域を超えて運用する取り組みは、全国190以上の地域で実施されておりますが、都道府県単位で行うのは、全国初となっています。

2 通信指令業務の一元化によるメリット

県内すべての119番通報が一元化されることにより、県内で発生する災害を集約できるため、指令センターから応援の必要性について各消防本部に進言できることから、相互応援の判断がより迅速化されることが期待されます。

また、有利な財源（緊急防災減災事業債（充当率100％／交付税措置率70％））を充当できたことにより、個別に整備するよりも大幅に安価な費用でシステムを整備することができました。

3 通信指令業務の一元化による課題

県内の広域なネットワークを構築したことにより、各種回線の通信費やシステムを適正に維持管理していくための保守委託費がこれまでよりも増額することになります。



4 考察

消防本部は、人口、財政状況だけでなく、職員数、管轄面積、車両数、署所数などの規模に加え、出動計画や現場活動、無線運用などそれぞれに工夫を凝らして消防体制を維持してきた現状があり、通信指令業務の「共同運用」一言で済ますことはできません。

国が推進する広域化や連携協力という考え方は、消防本部の活動や勤務状況、出動体制や人員など、地域の実情を踏まえたうえで、詳細に検証することによって、業務の効率化が図られることとなります。

すべての消防本部にメリットがあるわけではありません。

今後は、これらの問題、課題などに柔軟に対応しながら、将来にわたり継続して指令業務を運用していくためには何が必要なのかを考えていかなければなりません。